

胃がんの予防



徳島大学
消化器・移植外科 医局長
よし かわ こと ぞう
吉川 幸造 氏

胃がんにおいては
予防と早期発見が重要です。

まず予防に関して説明します。胃がんの原因の一つはヘリコバクターピロリ菌です。胃の中にピロリ菌がいるかどうかを調べる方法は大きく二つあり、胃カメラで胃の一部を採取する方法と血液や呼気などを用いて調べる方法で、簡単に診断することができます。もしピロリ菌がいた場合でも内服薬で除菌することが可能です。除菌することで胃がんになる可能性が低くなります。

もう一つ大事なことは、早期発見です。早期胃がんでは症状がないことが多く、気づかないままにがんが進んだ状態で見つかることもあります。そのため、症状がなくても検診を受けることが重要です。早期に発見できれば、体への負担が少ない胃カメラでの切除、腹腔鏡での胃切除（小さな傷で胃を切除）が可能です。ぜひ胃カメラを受けてみてください。



徳島大学病院がん診療連携センター

お問い合わせ がん診療連携センター: Tel.088-633-7312

がん相談支援センター

相談窓口 Tel.088-633-9438

徳島がん対策センター

<http://www.toku-gantaisaku.jp/>